

2016年3月11日  
京成電鉄株式会社

## さらなる輸送の安全確保のために 「転落検知マット」を導入します 京成高砂駅 1・2番線、3月17日（木）始発～

京成電鉄（本社：千葉県市川市、社長：三枝 紀生）では、3月17日（木）始発より、京成高砂駅の1・2番線において「転落検知マット」を導入します。

「転落検知マット」とは、万一お客様がホームから転落した場合に付近の列車に異常を知らせるものです。

京成高砂駅では、すでに3・4番線にこの「転落検知マット」を導入しておりますが、今回、1・2番線にも導入することで、駅の安全性がさらに向上します。

京成電鉄では、これからも輸送の安全確保に努めて参ります。

「転落検知マット」導入の概要は次頁のとおりです。



【転落検知マット配置】

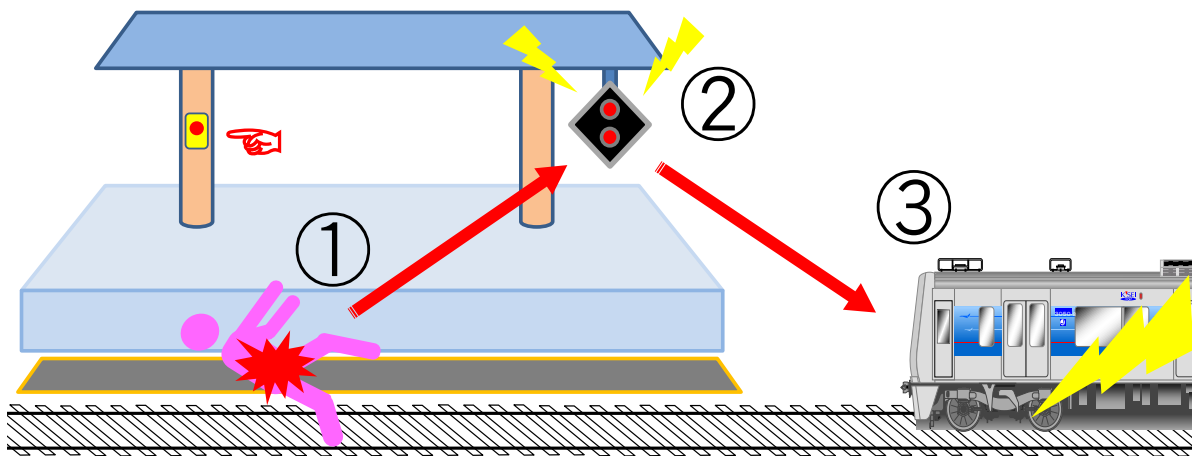


【転落検知マット外観】

「転落検知マット」の導入について

1. 導入箇所 京成高砂駅1・2番線  
(東京都葛飾区高砂5-28-1)
2. 導入日時 2016年3月17日(木)始発
3. 動作概要 下図のとおり

転落検知マット動作概要



①【転落検知マット】  
お客様がホーム下に転落した場合に非常通報表示灯を動作させます。

②【列車停止表示灯】  
音と光によって乗務員に異常を知らせます。

③【列車停止】  
運転士が列車を安全に停止させます。

※ (参考) 非常通報ボタン装置について  
当社では全てのホームに非常通報ボタン装置を設置しています。お客様が、駅構内において異常を確認した際に、このボタンを押して頂くことで、転落検知マットと同様に列車停止表示灯が点灯し、付近の列車を停止させることができます。但し、ホーム下は大変危険ですので、ボタンを押したとしても、ホーム下には降りないようにお願いします。

【非常通報ボタン装置】  
異常時にボタンを押した場合、列車停止表示灯を動作させます。